

子供を『伸ばす』幼小中一貫

本年度は、袋井あやぐも学園の「魅力ある幼小中一貫校づくり」の2年目です。昨年度の取組を振り返り、新たな仕掛けを考え、幼児・児童・生徒を伸ばしていく年です。さらに「主体的に考えたり、次の学びを求めたりする子の育成」を目指し、授業づくりの取組も始まります。

袋件あやぐも学園の幼児・児童・生徒の 魅力をさらに作ばずための土台

- 学園教育目標:「夢を追い続ける子供の育成」
- 学園経営目標:「幼小中一貫カリキュラムにより自主(Iのカ)と協同(We のカ)を育成する学園」
- 共有する子ども観:「自己有用感」「主体性」を高める
- 共有する方法:「聞く指導」「ボイスシャワー」

袋井あやぐも学園の全職 員が学園カリキュラムを理解し、一貫研を通してつながり、一丸となって全ての幼児・児童・生徒がさらに魅力を伸ばしていけるような一年にしていきましょう。



※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「デジタル職員室→掲示板→袋井中校区」の中にある「H28 魅力通信」 「H29 新・魅力通信」「H30 真・魅力通信」「R1 進・魅力通信」「R2 深・魅力通信」をご覧ください。

令和 3 年度 袋井あむべも宇國 幼小中一貫数 グロソドデザイソ

学園教育目 轤 夢を追い続ける子供の育成 権政技を国 受井中 袋井東小 袋井西小 袋井北小 今井小 (連携校) ◆主な連携属 明和第二保 めいわ可睡保 袋井あそび保 袋井東幼 袋井西幼 田原幼 岩葉幼 岩草にたんぽぽ第二段 どんぐり保 MOE保育園でんじん園

学園が目指す子供像 立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿 人のために一生懸命汗を流す姿 「協同(社会力)」集団の一員として自分の役割を自覚し、 自主 (自立力) 」学習や生活、諸活動のそれぞれに目標

幼小中一貫カリキュラ と嬉回 ムにより (Weの力)

海町駅町似

建置美国金

一貫净

模計委員会 体づくり部 心づくり部 生き方部

評価指揮・目集価 「あてはまる」の割合(小6/中3) 「学校が楽しい」

「みんなた何かするのが楽しい」 「授業に主体的に取り組んでいる」

(70/60)

学園カリキュラムで目指す姿を共有する。 特別支援教育部

「授業がよく分かる」

(55/40)

(55/45)

の基本方針 推進のため ・子供理解(振り返り個票、個別の教育支援計画・指導計画等)により指導をつなぐ。 ・一貫研と組織(カリキュラム検討委員会・拡大推進委員会)で教職員をつなぐ。

・一貫研・学園(学校)運営協議会で学校と地域をつなぐ。はごろも夢講演会で子供観を共有する。

居場所

がヘッ

施設分離型幼稚園・小中学校をつなげる

を育成する学園

学園経営目標

₩

(内の1

「共有する子ども観」と「手立て」

東氏を持たせた数言指導・異菌の最近

次の学びを求めたりする子の育成 主体的に考えたり

樹米 ルヘッ

わかったできたと実際できる接り返り活動 学びの見通しがもてる課題数定 思考を書かせる時間の設定

思考力のおばえを支える遊びの光楽 遊びや生活の中での煮づき

施びの乗り返りの数度

小 対抗の時間を数定・息等ツールにT機器の店用小 学習課題に対する振り返り、まとめの時間の設定

就学前カリキュラム

d+

퍠

茄

幼小接続カリキュラム

人にとって「 ある学校・ 國レヘシ」 常・

生きて書く知識・技能の習得 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の語言 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

《如姚卿·伊肖爾》 《伊莱宾》 《伊莱宾》 《西莱宾》 《伊莱宾》 WhyHow型の標準設定・単元や素率とのつながりを非難した導入集首 中 WhyHow版の指摘表別・長元を育く指摘の表別・作為の施り前りを指摘表別

福手にわかりやすく数す 福手の数を気応しながら聞く 前日と日本の集内を打入分別の面。 指導の構造としなけながら関す 女の手びにつなげるために、疑問点やもっと知りたいことを記入 **将手を奪請して聞きたくなる話し方で話す** 標準の考えを引き出す聞き方で聞く

中 交換品重要回品重の資産業のもための思考サールにT需要の品用・他の手管等間の製皮

メタ際省の作力の手間・メタ際省的な業業を入れた乗り送りし次の手びへの業績

取組み方 (量・ルール) 35 77 惧 \overline{n} 4 授業とつなげて 9 外角的影響付け、内景的影響付け

存しへつ

授業の中で「話す」「聞く」を大切にするとともに

アングラウ

技業

聞く楽しさや大切さを感じ聞こうとする/

楽しく数す

相手を見て聞こえる声で落す

指手を養養して聞く

家庭学習

表になり物質な一集の

「あそび」を通して 体を動かすことを楽しむ

「できた」を集やしながら 体を動かすことを楽しむ

体を動かすことを楽しむ

協力して

日標連続に向けて、考えながら

自己の目標に合わせ、努力を提み重ね

るために体を動かすことを楽しむ

体を動かすことを楽しむ

家庭学習を工夫することにより、

主体的に学習する態度を養う。

「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築 <力や目標に向けて努力し続ける力を育てる

ダスヘッ

槽

乗りの友達と生活できる

無分中間 りのものを

大明にできる

無明にすることがなるの

無項にすることができる

置りの人に進んで

■9øAE

対の他のおも美しい教育

会議を集やし、弊を深める教育

弁関と協力して

権動を非常付任

基礎のために汗を渡し

自分かの 達んで書く

力が無条件の大

わがままをせず、 乗りの対義と生活できる

−ルに従って生活できる よく考えて行動し、

いに使い責任を持って生活できる

根手の立場を尊重してマナーを守り

TPO (時・所・集合) を考え

को एवं प्रा

よく考えて行動し

指導の仕集や食等もを参え

無切にすることができる

他の人に対し、養切にすることができる

難りの人に機器の資茶もかもも

共会の前標機構「人心共会に委員つかながある」(機構・業績)

学園の出口を目指し、自分の将来について語ができる家庭

「静をつくる」「温をつくる」という活動を通し て、規範意識や思いやりの心を育てる。

生き方

「働く喜び」や「住みよいまち」の視点で人のた めに尽くす力を育てる

> 家庭の温を 大切に ìű

基本的資料機能「たったー人の存在」(東帝・共務) 機が参せで指摘さいる特徴 / 役の

|く喜び

単語な器製工を含む 重申しない 自分のことを

住みよいまち

誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指し、 特別支援

装装を送む

華明台語第四かさ

指揮の漢さを

より見い影響を目指した

「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、児童生徒の自立力・社会力を育てる

- 11 -